

共創パートナー募集 — 助産師職能団体の皆さまへ

助産師の専門性を、全国に届けるために。
団体として、日本の新しい産前・産後・家族ケアインフラづくりに参加しませんか。



日本の産前・産後ケアは、いま大きな転換点にあります

産前・産後の家族を取り巻く環境は、急速に変化しています。

- 産後うつが増加
- 孤立・ワンオペ育児
- 相談先の不足
- 地域によるケア格差
- 医療機関の負担増

これらは、医療だけでも行政だけでも解決できない“社会構造の課題”です。

そして、この課題に最も近い場所で向き合ってきたのが、**助産師の皆さま、そして助産師職能団体**です。

一般社団法人ジャパンママケアホテル推進協会の挑戦

私たちは、

「産前・産後の母子・家族が安心して休める場所」を全国に届ける という使命のもと、民間主導で新しいケアインフラを構築しています。

その中心となるのが、

助産師職能団体（助産師） × （旅行業+ホテル・旅館） × 企業 が連携する「三者共創モデル」です。

- **助産師職能団体**：専門職の質保証・研修・認証・地域連携
- **旅行業者**：全国ネットワーク・品質管理
- **ホテル・旅館**：安心して休める空間・おもてなし
- **企業**：利用料の負担（福利厚生・健康経営）

自治体は“サブ”として補助的に支援し、**持続可能な民間インフラとして全国展開できる仕組み**を実現します。

助産師団体が共創に参加するメリット

✓ 1. 助産師の専門性を社会に広く届ける“新しい舞台”をつくることができる。

ホテルという環境は、
「休息」「安心」「プライバシー」が確保され、
助産師のケアが最も届きやすい場所です。

団体として参画することで、**助産師の専門性を社会に可視化し、価値を最大化**できます。

✓ 2. 会員助産師の“働き方の多様性”を広げられる

団体として参画することで、会員助産師に新しい働き方を提供できます。

- 病院勤務と両立
- フリーランスとして活動
- 地域ごとの柔軟な働き方
- ホテルを拠点とした新しいケアモデル

助産師のキャリアの幅が広がり、団体としての魅力・存在価値も高まります。

✓ 3. 団体として“質保証・研修・認証”の仕組みを構築できる

本事業では、助産師のケア品質が極めて重要です。

団体が参画することで、

- 研修体系の構築
- 認証制度の設計
- 品質基準の策定
- 地域連携の仕組みづくり

など、**助産師の専門性を守り、育てる仕組み**を担うことができます。

✓ 4. 企業の福利厚生として導入されることで、安定した需要が生まれる

本モデルでは
企業が利用料を負担する仕組みです。

- 健康経営
- DE&I (Diversity : 多様性、Equity : 公平性、Inclusion : 包摂性)
- 女性活躍推進
- 離職防止

企業が費用を負担することで、
助産師のケアが“必要な人に届く仕組み”が整います。

団体としては、**会員の活動機会が安定的に確保される**という大きなメリットがあります。

✓ 5. 地域の助産師ネットワークを強化できる

ホテルを拠点にすることで、地域の助産師同士がつながり、新しいケア文化が生まれます。

- 地域連携
- 情報共有
- 研修・スキルアップ
- 新しいコミュニティ形成

団体としてのネットワーク強化にもつながります。

共創で実現する未来

私たちが目指すのは、

“どこに住んでいても、母子・家族が安心して休める社会”です。

- 産後の不安が軽減される
- 家族が前向きにスタートできる
- 助産師の専門性が社会に広く届く
- 地域に新しいケア文化が根づく
- 日本の家族の未来が変わる

これは、助産師団体が中心となって創る**新しい社会インフラ**です。

共創パートナーとして参加いただきたい 助産師団体の皆さまへ

- 会員助産師の活動領域を広げたい
- 地域の産前・産後・家族ケアを強化したい
- 研修・認証制度を社会実装したい
- 助産師の専門性を社会に広く届けたい
- 日本の未来に残るインフラづくりに参画したい

その想いを持つ団体と、私たちはともに歩みたいと考えています。

まずはお気軽にご相談ください

- ・ 団体としての参画方法
- ・ 会員助産師の活動モデル
- ・ 研修・認証制度の設計
- ・ ホテル・旅行業との連携方法
- ・ 企業・自治体との協働スキーム

丁寧にご説明し、最適な形をご提案します。

助産師団体の力が、日本の家族の未来を支えるインフラをつくります。

お問い合わせ

一般社団法人ジャパンママケアホテル推進協会

メール：info@m-mirai.co.jp

電話：03-5148-1007